

令和元年度

## 租税教育実践発表会資料



石巻市立和湊小学校  
教諭 佐藤 哲平

## 1 はじめに

税金とは国や地方公共団体が公共サービスや公共施設に必要な費用として、住民や会社などから集める金銭である。税金は、私たちが健康で文化的な生活を送る上で、なくてはならないものである。現在は、所得税や固定資産税など様々な種類の税がある。しかし、子供たちにとって、これらの税は日常の生活で扱うことがなく、実際に納税することもないため、自分たちの生活と税金が密接に関わっていることに気付いている子供は少ないと言える。一方で、平成31年度には消費税率が10%に引き上げられる見込みであることから、消費税については大人だけでなく、子供たちにとっても身近な税と言える。

税に関する学習を通し、自分たちの生活と税金との関わりに関心を持ち、税金の役割を理解し、これから生きていく社会（持続可能な社会）について考えることは重要なことと言える。

## 2 児童の実態

本学級は、男9名、女6名、計15名である。どの学習においても、落ち着いて学習し意欲的に取り組むことができる。社会科においては、歴史の学習への関心が高く、自主学習で歴史上の人物を調べたり、休み時間に歴史に関する本を読んだりする姿が見られる。

公民分野の学習が始まると、「政治は難しい」という印象をもっている子供が多く、学習に対する意欲がやや低下した。

租税教室を実施するに当たり、税金に関する聞き取りをした。税金に対するイメージは「せっかく稼いだお金を取られる。」「消費税は10%になって欲しくない。」「税金は全部なくなって欲しい。」などの意見があった。その多くが否定的な意見であり、税金が自分たちの生活を支えるものという認識がないことが分かった。

## 3 指導に当たって

児童の実態を踏まえ、指導に当たっては以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- 我が国における税の歴史に触れながら学習を進める。
- 租税教室を実施することで、税金と自分たちとの生活が密接に関係していることに気付かせ、税金の大切さ、納税の義務の大切さを理解させる。
- 自分たちの住む石巻市における税金の使途に興味・関心をもたせる。

## 4 指導計画（2時間扱い）

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準
1	○ 税金の働きについて学習する ・ 社会科の「子育て支援の願いを実現する政治」の単元で「税金の働き（6/7時間）」について、租税教室に関連する内容を事前に学習する。	・ 税の種類や主な使途について、児童の実態把握をしながら学習を進める。租税教室で実施する内容（税金がなかったらどうなるか）については学習しない。	・ 人々の願いを実現するための費用には、住民や会社などから集められた税金が使われていることを理解している。 (知識・理解)

2	<p>○ 租税教室を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (公社) 石巻法人会青年部の方の話を聞き、税金に関する理解を深める。</li> <li>・ DVDを視聴し、税金がない場合について考える。</li> </ul> <p>※ ゲストティーチャー (公社) 石巻法人会青年部の方、石巻税務署の方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に学習したことの他に、税金がなかったら自分たちの生活がどう変化し、どういう場面で困るか考えさせる。</li> <li>・ 学習のまとめとして、感想を書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。 (知識・理解)</li> </ul>
---	---	---	--

## 5 社会科との関連

### (1) 日本の歴史

#### ○天皇中心の国づくり

- ・ 国を治めるためにどのような法律がつけられ、物の流通があったかについて調べる。
- ・ 国を治めるための法律(律令)ができ、租・庸・調といった税を納めることや、兵役の義務が人々に課されたことについて調べる。
- ・ 都の賑わいを支える地方の人々の生活は、重い税の負担で厳しいものだったことを理解し、人々の生活について調べる。

#### ○3人の武将と天下統一

- ・ 豊臣秀吉は検地により田畑の広さや土地の善しあしを調べ、収入を確かなものにしたことを理解する。
- ・ 検地と刀狩により、身分が区別され、武士が世の中を支配する仕組みができたことについて調べる。

#### ○江戸幕府と政治の安定

- ・ 徳川家光は、幕府の力を強め、確かなものにするために、どのような政治を行ったかを調べる。
- ・ 幕府はどのようにして、身分制度を整えて、百姓や町人を支配し、確実に年貢を取れるようにしたのかを調べる。

#### ○明治の国づくりを進めた人々

- ・ 欧米に学んだ大久保利通らが、どのような国づくりを目指したのかを調べる。





### (2) 私たちの生活と政治



#### ○子育て支援の願いを実現する政治

- ・ 子育て支援のための費用は、どこから出るかを調べる。
- ・ 税金の集められ方と使われ方について調べる。
- ・ 税金がなかったらどうなるかを考え、税金の役割について調べる。

- 震災復興の願いを実現する政治
  - ・ 災害復旧に向けた国の取組を調べる。
  - ・ 復興にかかる費用は、国民や企業から集めた税金が使われていることを理解する。
- わたしたちの暮らしと日本国憲法
  - ・ 国民として果たさなければならない義務があることを理解する。

## 6 実践内容【平成31年1月30日 租税教室】

	○主な学習内容 ・児童の反応	学習の様子
導 入	1 本時の学習課題を知る。 自分たちの生活と税金との関わりを知ろう。 2 ゲストティーチャーの紹介	
展 開	3 (公社)石巻法人会の方の話を聞き、税金について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちが知っている「税」について発表する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費税</li> <li>・ 所得税</li> <li>・ 固定資産税 など</li> </ul> </li> <li>○ その他の税について知る。</li> <li>○ なぜ税金を支払わなければならないか考える。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共のサービスのため</li> <li>・ 復興にかかる費用</li> </ul> </li> <li>○ 税金の使われ方について知る。</li> </ul> 4 DVDを視聴し、税金について理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を見る。</li> <li>○ DVDを見て気付いたことを発表する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防車が来なくて困る。</li> <li>・ 病院に行けなくて困る。</li> <li>・ 道路が直せなくて困る。</li> <li>・ 生活する上で困ることがたくさんある。</li> </ul> </li> </ul>	  

ま と め	<p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートに感想を書き，発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金のことがよく分かった。</li> <li>・税金は大切だと思った。</li> </ul> </li> </ul> <p>6 1億円のレプリカを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1億円のレプリカを実際に持ち，重さを実感する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・重い！</li> <li>・意外と小さい。</li> <li>・欲しいな。</li> </ul> </li> </ul>	 
-------------	--	---

## 7 成果と課題

### (1) 児童の感想

- ・ 「税金は必要ないと思っていたけれど，DVDを見て，税金がないと困ると思った。」
- ・ 「自分たちの生活には税金が必要だということが分かった。」
- ・ 「いろいろな税があることが分かった。」
- ・ 「自分たちが生活するには，たくさんの税金が使われていることが分かった。自分の家では，どれくらい払っているか知りたい。」
- ・ 「前までは，消費税を払いたくないと思っていたけど，やっぱり税は大切だから，子供でも消費税を払わないといけないと思った。」

### (2) 成果

- ・ 税金に対して否定的な意見が多かったが，租税教室を実施することによって，税金は自分たちの生活に欠かせないものであり，大切なものであると考える子供が増えた。
- ・ 日本には様々な種類の税があり，いろいろな場面に使われていることが分かり，税の仕組みについて理解することができた。
- ・ 租税教室では，学校の授業だけでは知り得ない，専門的な話を聞くことができ，税金だけでなく，国の政治についても理解を深めることができた。

### (3) 課題

- ・ 事前指導では，どの程度指導すべきか十分に打合せをすることができなかった。
- ・ 税について学習したことを，今回だけで終わらせるのではなく，機会を見て指導していく必要がある。

## 8 おわりに

租税教室を通して、税に対する否定的な印象がなくなり、自分たちの生活にとって大切なものとして認識できるようになった。消費税が10%になることも含め、いろいろな税に対する関心が高まった。また、ゲストティーチャーを招いて授業を行うことで、専門的で正確な知識を得ることができた。将来、社会の中心として働き、納税し、生活していく子供たちにとって、今回の学習は大変有意義なものであった。